

才 ナ ガ

Cyanopica cyana



分類	スズメ目カラス科													
特徴	頭が黒く、先の白い長い尾を持った灰色っぽい鳥。青森県から福井県、静岡県にかけての本州東部に留鳥として分布し繁殖する。分布の中心は関東地方から長野県にかけてであり、そこでは個体数も多いがその他の地方では局地的である。近年、繁殖するようになった地域がある一方、かつて棲息していた九州では現在は見られないなど、分布の変化が目立つ鳥である。													
生活	農山村、市街地などの人里とその近くの明るい林に棲息する。樹上で昆虫や木の実を食べるほか、鳥の卵や雛をとったりするが、地上をはね歩いて餌を探すこともある。繁殖期には、数つがいが集まって比較的近い場所にまとまって巣を作る。ネコ、カラスなどの外敵が近づくと、1羽が声を上げ、近くで繁殖している個体を呼び集めて騒ぎ立て敵を追い立てる習性がある。産卵期は5～7月、卵数は6～9個、抱卵日数は17～20日位、巣立ちまで18日位。													
声	繁殖期には「ピリピリピリピリ」という優しい声で鳴くという。普通は「ゲーイ、ゲーイ」と濁った声で鳴き、「ゲーイ、キュルキュルキュル」とも鳴く。警戒声は「ゲーッ」とか「キューイ、キューイ」である。													
見分け方	尾の長い体形、頭上の黒、青い翼と尾が特徴。													
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	全長(L)37cm 翼開長(W)41cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														